森の風の記憶

Presented by 諸塚村観光協会「まちむら応縁倶楽部」

諸塚の四季 Ｖｏｌ.ⅢＸ　カニの秘密！

通刊第３０号

平成20年２月29日発行

目次:

やま学校日記　2
諸塚を食べる　4
ＮＥＷＳ　5
イベント案内　6

※この通信誌は、ご希望の方はメールでもお届けできます。下記にご連絡ください。

先日、ご縁があって林業関係の講演会で鳥取県に伺いました。林業の先進地で、大変僭越でしたが諸塚村の取り組みを紹介させていただきました。現場見学、懇親会、講演会、勉強会、懇親会、二次会．．．密度の濃い３日間でした。

特に、講演会後にあった有志の集まった勉強会では、本質的な議論が多数なされ、これからの林業の光を見る思いでした。

まじめな２日間の後、最終日の祭日には、お世話いただいた事務局のＫさん一家の案内で、松葉カニがあるという漁港へ。

なんと一杯数百円です。今の時期の主流は脱皮前のカニで小さいとはいえ破格の値段。地元では、値段の高い大きなカニより、手頃で柔らかくて食べやすいので人気があるとか。

たくさん買ってしまいましたが、あとでよくよく考えると、大きくなる前の、子どものカニを捕って食べようとするわけで、子孫をつくる前に食べてしまって大丈夫かなと悩んでしまいます。Kさんによると、ほかにも卵を産むメスは小さいので値段が安く取引されているそうです。実際、カニは減っていて、ロシアのカニを持ち込んで日本海沖に放して数年後に地元産にする計画もあるとか．．．。

とはいえ、「地元でないと知り得ない秘密が解ったことは勉強になった」「食べてみないと問題の本質は解らない！」などと言い訳を考え、「帰ったらカニ鍋だ！」と帰路につきました。（矢）

２月の出来事

２月９日 諸塚神楽（恵後の崎神楽）
２月２３日 諸塚村剣道祭
２月２４日 諸塚村産直住宅延岡市Ｕ邸見学会
２月２４日 釜の前後王様祭り
２月２６日 村おこし講演会
３月２日　日本一早い！諸塚山山開き

全村森林公園 諸塚
百彩の森づくり
諸塚村

宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代３０６８
しいたけの館２１内諸塚村観光協会
TEL０９８２－６５－０１７８
Fax０９８２－６５－０１８９

HP　http://www.vill.morotsuka.miyazaki.jp
e-mail　ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp

やま学校日記番外編

第２２回　日本一早い！諸塚山山開き
平成２０年３月２日（日）

日本一早い！がキャッチフレーズの諸塚山山開きも、今年で２３回目を迎えました。３月２日（日）昨年に引き続き、緑地広場も山頂も風一つない澄み切った青空の下、また山には雪が残るという山登りには最高のコンディションとなりました。前々日や前日の様子とは全く違う諸塚山の姿を嬉しく眺めました。

早朝７時半、緑地広場には数台の車が既に駐車されていました。遠方からの登山者や朝一番で山に登ろうという方々が準備をしていました。８時過ぎには特産品加工グループと商工会の方々が特産品や弁当の販売準備と、登山者の体を温める甘酒や豚汁の準備がはじまりました。登山客を受け入れるための準備が着々と進みます。

素材は周りに一杯！
それを活かすのは知恵です！

受付開始の９時前には、受付場所にはたくさんの人が並びました。

遙拝所前では９時４０分から立岩桂地区の神楽が奉納されました。10時から開会式典です。神事で１年の登山者の安全を祈り、主催者挨拶は観光協会長、次に朝日新聞宮崎総局長の挨拶に続き、日本山岳会宮崎支部による山の誓いの朗読が行われました。１０時２０分いよいよ恒例のウッドカットです。この様子をカメラに納めようと十数人がカメラを構えるなか、６人の方がのこぎりで切っていきます。ウッドカットが終わると一斉に諸塚山山頂に向け登山の開始です。登山開始３０分後、彼方からヘリコプターの音が近づいてきました。朝日新聞社ヘリからの記念撮影開始です。頂上で「日本一！ガンバレ」とかいた横断幕を広げるグループ、登山の途中で手を振る子ども達や親子連れ、今年は例年と違った写真が見られそうです。

雪の残った登山道を登ること約１時間、ようやく頂上に到着です。山頂ではお弁当を広げるグループや、諸塚山　標高1,341.6と書いてある看板の前で記念撮影をする登山者でいっぱいでした。

緑地広場では、１２時から交流会の始まりです。今年は、フォレストＰＩＡ『五感の集い』が同時開催され、フォレストピア圏域の五ヶ瀬町、日之影町、高千穂町、椎葉村、諸塚村から郷土芸能や民謡などが披露されました。それぞれの町や村から自慢の神楽や民謡、また「めじろまさ」さんの鳥の鳴き声は緑地広場をゆったりとした時間に包んでくれました。またフォレストＰＩＡ交流コーナーでは郷土料理の実演も行われ好評でした。

今年の参加者数は、およそ１０００名でした。昨年より少なかったようですが、それでも山開きに１０００名も集まるのは珍しいことのようです。それだけの魅力があるのでしょう。由緒ある諸塚山で、日本一早い！をキャッチフレーズに開催される諸塚山山開き。朝日新聞ヘリからの記念撮影や、甘酒のふるまいや豚汁の販売、特産品の販売、また前日から諸塚に入る登山者との前夜祭での交流会などが、今日の山開きにつながっているのだと思います。毎年、いろんな姿を見せてくれる諸塚山です。諸塚山を守る地元の方々への感謝の気持ちを忘れずにこれからも諸塚山がある限り続けて行けたらと願うばかりです。

皆さん、来年もお会いしましょう。（聖）

やまの声　鹿児島市からのお便り！

今年も参加させて頂きました。前夜は塚原公民館で楽しい一時を過ごさせてもらいました。大変お世話になりました。お食事などボランティアの皆様にも心から感謝しています。ありがとうございました。諸塚村のご発展をお祈りいたします。

諸塚を食べる！(30)　ふきのとう

閏年の今年、２月は２９日まで、１日得したような気持ちになったのは私だけだったでしょうか？３月２日第２３回目の諸塚山山開きを控え慌ただしい月末でした。毎年、山開き前になると諸塚山周辺の道路をタイヤショベルで整備してもらっています。３日前の２８日飯干に迎えに行くと「今日の収穫！」と『ふきのとう』を見せてくれました。春はもうそこに来ているようです。

今回の主役は『ふきのとう』。雪解けを待たずに顔を出す春の使者。一番早く食べることができる天然山菜です。キク科フキ属の多年草で、日本原産の山菜です。いろいろご紹介していますが、日本が原産って初めてかもしれません。

フキの花のつぼみで、葉が出る前に独立して地上に芽を出します。寒さに耐えるため何重にも苞（ほう）がまいています。だから雪の中からでも顔を出すのです。オスの花は淡黄色、メスの花は白色、食べると淡黄色が美味しいそうです。でも蕾の内はどちらか分かりませんが・・・

冬眠から目覚めた熊が、最初に探して食べるものなんだそうです。長い冬眠で鈍っている体を覚醒させて胃腸の働きを整えるためだという説があるようです。熊が先か？人間が先か？

さて、ふきのとうといえば天ぷらが定番です。香りや苦味を楽しむなら生のまま炭火であぶって味噌をつけても美味です。味噌とはとても相性が良くて苦味をおさえて甘さをひきだす事ができるとか。ふきのとう味噌を常備して食する人もいると聞きました。ちょっと苦味が・・・と言う方は茹でて水にさらしておくとアクが出て食べやすくなります。が、香りまで抜けてしまうようです。茹でたものは、和え物で食してください。（聖）

ここで一句見つけました！

～ほろ苦き恋の味なり蕗の薹～

マメ知識　春の皿には苦みを盛れ！

ふきのとうの苦味には、抗酸化作用、新陳代謝を促し細胞を活性化させる効果や肝機能を強化して疲労回復させる効果があります。香りには整腸効果あがって食欲を増進させるばかりではなく、せき止めやたん切りなどの薬用効果も高いようです。【春の皿には苦味を盛れ】と言われています。冬の間にたまった脂肪を流し、味覚を刺激して気分を引き締めるには最高の食材です。

「春苦味、夏は酢の物、秋辛味、冬は油と合点して食べ」明治の食養家の道歌です。四季のめぐりに応じて旬のものを食べられることは幸せですね。

大豆応縁倶楽部　味噌仕込みツアー

手前味噌つくってみませんか！

期　日：**平成２０年３月２２日(土)～２３日(日)**

第８期大豆応縁倶楽部も、いよいよ最後の「味噌仕込み」ツアーの時期となりました。昨年収穫した大豆応縁倶楽部の無農薬大豆を使って仕込みます。

麹をねかせ、煮込んでつぶした大豆と天然塩とを混ぜて仕込みます。また、大豆食品の代表格「豆腐つくり体験」も計画しています。

会員の皆様はもちろん、ご家族･ご友人を誘っておいでください。また、介意以外の方のご参加もお待ちしております。

１　日　程　　平成２０年３月２２日（土）～２３日（日）１泊２日

２　内　容

２２日（土）１３時００分　しいたけの館２１集合
１３時３０分　七ツ山加工場に到着
豆腐作り体験
１６時００分　作業終了(予定)
夕食準備
◎宿泊は古民家「藤屋」で地元の方との交流会を計画しています

２３日（日）０９時００分　味噌仕込み
昼食準備
１２時００分　昼食
１３時００分　解散　＜お疲れ様でした！＞

※食事は、七ッ山加工婦人の指導での共同炊飯となります
※天候等の事情により、内容が変更になる場合がございます

３　参加料　　大人　　６,０００円（一泊３食付き・体験料込み）
中学生以下　　５,０００円
３歳以下　　無料
日帰り（１日目参加・夕食込み）　２，０００円
（２日目参加・昼食込み）　５００円

４　申込み・お問い合わせ先

諸塚村観光協会　しいたけの館２１（開館8:30～17:00　休館日：毎週水曜日）
【大豆応縁倶楽部係】TEL０９８２－６５－０１７８　FAX０９８２－６５－０１８９
参加予約の締切は、３月17日（月）午後5時までとなります

イベント情報

諸塚の祭り(30) 吉野宮神社大祭（座頭神祭）

室町時代に不幸にして亡くなった盲僧の命日にちなんだお祭です。５００年前には霊の供養が目的だったのでしょうが、長い年月の間にそのお祀りした神社が霊験あらたかな目の神様として崇められるようになり、また地域共同体の祭りとしても定着するようになったものです。山間の小さな集落の小さな神社の祭りですが、宮崎県北部では、お隣の美郷町北郷区の宇納間地蔵さん、延岡市のお大師さんと並ぶ宮崎県北部の３大祭りとして多くの人が集まる伝統ある行事です。

江戸期の昔から多数の信奉者が訪れていた様で、江戸時代の本草学者・賀来飛霞の「高千穂採薬記」によると、祭りの前後数日間は、市が立ち、射的場、バクチ場が出来ていて、山深い山頂が賑わう様子を見て彼が驚いた記述されています。

神社の謂われとなった盲僧の伝説は、吉野宮物語という本も出版されたり、紙芝居なども創られていましたが、縁あって絵本作家の五味太郎氏が大きな絵図とビデオ、そして絵本と絵葉書をつくってくれました。また、祭の当日には、日本でただ一人の琵琶法師の永田法順さんが参拝され、「先輩の供養」として毎年公演をされるのも見所となっています。

吉野宮神社大祭　平成２０年３月２８日（金）

諸塚村大字家代　南川中尾　吉野宮神社

主催　吉野宮祭実行委員会

日程　８：３０　神事・神楽奉納・箕舞

１１：３０　永田法順氏公演・もちまき

１３：００　アトラクション

【３月の予定】

３月　８日　アコースティックライブ in まあ夢

３月１６日 世界森林認証祭り「森の恵みの感謝祭」

３月２２～２３日 大豆応縁倶楽部 味噌仕込みツアー

３月２７～２８日 耳川流域国土保全大使ツアー

３月２８日 吉野宮神社大祭

３月３０日　家代観音祭り

宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代３０６８
しいたけの館２１内諸塚村観光協会
℡０９８２－６５－０１７８
Fax０９８２－６５－０１８９
e-mail ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp

琵琶法師の釈文
南川神楽の奉納

編集後記

最近「あーっ！忘れとった・・・どうしよう」が多くなってきました。メモをとっても手に書いても「あーっ！忘れとった・・・どうしよう」。頭の中がパニックになっているのかも・・・。ちょっと気を引き締めて３月に望むことにします。（聖）　「日本で一番早い！諸塚山山開き」の準備中に突然の訃報が舞い込みました。諸塚村産直住宅に当初から深く関わり、ご支援いただいていた熊本市の建築家S氏の急死です。氏は、諸塚の木材がまだ世に出ていないころから評価いただき、技術面でも精神面での大きな支えになりました。山には入る建築家がほとんどいなかったころに、何度も諸塚に通って、私達や林業家と酒を飲みながら、「家づくりとは」「村づくりとは」を議論したことは忘れません。あまりに早い死でした。ご冥福をお祈りします (矢)

全村森林公園 諸塚
百彩の森づくり
諸塚村

Presented by 諸塚村観光協会
「まちむら応縁倶楽部」